



株式会社トクヨシ精機

TOKUYOSI
STEP FORWARD.

「働き方改革」の実現！ ASTERIA Warp CoreとRPAツールで残業時間をゼロへ

株式会社トクヨシ精機は切削加工、設計、部品の製造から、表面処理、組み立てを行う機械製造メーカー。

IT部門を持たない同社では、紙ベースでの手作業も多く、社員は受発注などの単純業務に多くの時間を取られ、スキルアップや企画業務などを行う時間がなかなか確保できずにいた。

このような背景の中「働き方改革」を遂行すべく受発注業務の自動化を実施したところ、短期間に多大な成果が得られた。



課題 1

顧客希望納期への対応

受発注業務の専任者は12名。業務負荷が高く、発注企業の全ての希望納期への対応は困難。そのため納期延期の交渉がさらなる業務負荷となり悪循環を招いていた。

課題 2

常態化した長時間残業の削減

フォーマットの異なる1日20件の注文は、納期も厳しく受注処理も複雑なため定時に業務を終らせることができなかった。残業可能な社員4-5名は受発注作業のために1回4時間の残業を週3回程度行っていた。

課題 3

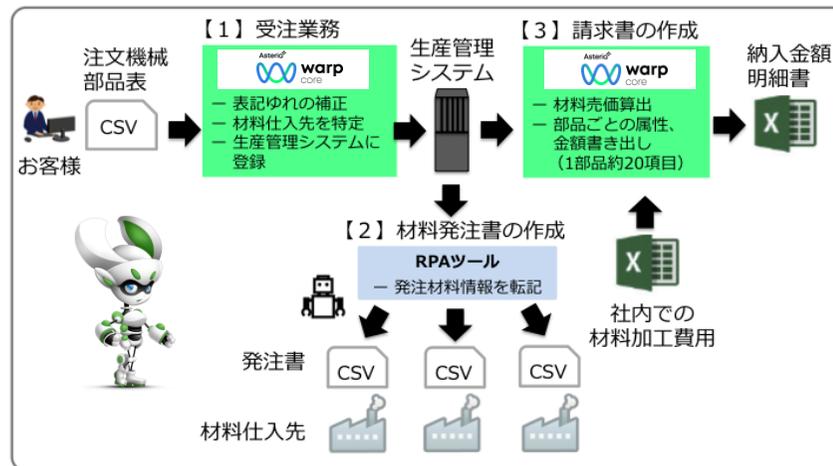
単純業務の排除及び高度な業務への注力

管理者まで受発注業務にかかりきり状態になっており、本来必要な「顧客への改善ヒアリング」や「新たな業務改善企画」など高度な業務に集中する時間を創出できなかった。

導入効果

- **顧客希望納期100%の対応！**
受発注業務処理が追いつかないことを理由にした納期変更がゼロになり、顧客満足度が向上。
- **専任12名から兼任5名体制へ！**
注文機械部品表から材料の仕入れ先を特定する作業や売価の算出などはASTERIA Warp Coreで自動化。単純な転記作業にはRPAツールを活用。5名体制で業務遂行が可能に。今後はさらに自動化を進め、2名体制で遂行予定。
- **受発注業務での残業時間がゼロに！**
受発注業務は専任ではなく兼務が可能になり、別業務で残業することはあっても受発注業務での残業はゼロに。
- **企画立案業務やスキルアップのための時間を確保**
受発注業務に追われることがなくなり、社員は高度な業務に従事できるように。

業務自動化の概要



お客様から一言

ASTERIA Warp CoreのココがGood!



業務担当
ご担当者様

ASTERIA Warp Core導入後、約1ヶ月半の開発期間を経て受注業務のフローが完成し業務自動化がスタートしました。以前は21:30頃まで残業することも多かったですが、今では受発注業務での残業は一切なくなりました。時間に余裕が持てるようになったので、空いた時間で新たな業務改善に着手し始めています。

Asteria[®] warp core 例えば「材料売価算出」ではこんな処理をしています。

